

こんにちは 家畜保健衛生所です

家保便り 平成 28 年 11 月

BVDV 持続感染牛の摘発に向けた

バルク乳検査のお知らせ

BVDV とは

牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）は、下痢や呼吸器症状を引き起こす他、妊娠牛に感染すると流死産や胎子奇形の原因となります。

持続感染牛とは

胎子期に感染した牛の中には、**生涯ウイルスを排出し続ける持続感染牛**として生まれるものがあり、感染源になってしまいます。持続感染牛は、一見健康な牛と区別がつかない場合も多く、**気付かない内に感染を広げている危険性がある**ため、早期に摘発し淘汰することが重要です。

持続感染牛の摘発に向けたバルク乳検査を実施します

- 「搾乳牛の中にウイルスを持った牛がいるか」を調べる検査です。
- 検査にはバルク乳 100mL を使用します。
 - * 家畜保健衛生所の職員が取りに伺います。
 - 日時の調整等ご協力お願いします（改めてご連絡します）。

御不明な点は家畜保健衛生所まで

家畜保健衛生所 業務第一課

〒639-1123 大和郡山市筒井町 600-3

TEL 0743-59-1700 / FAX 0743-59-1740